



でたん  
2022.12.17

実演139回目

2003 バターライス

2004 空

2007 Johnさんの眼鏡

2012 向こうの男

2015 手のなる方へ

でたんの次回ライブは 2023年2月 碑文谷APIA40にて

### 空

どこへ行こうかここじゃあんまりか  
何をしようかそれじゃあんまりか  
話をすればそれは君の空  
青くて正しい君の空

街へ出て行けばすぐに帰りたくなる  
街へ出て行くよ何をなくしても  
話を聞けばそれが僕の空  
青くて困る僕の空

少し悩んでもすぐに忘れるし  
すぐ悩んでもすぐに忘れてしまっし  
僕等の青さを比べておくれよ

何が僕等の足を止めているのか  
何が僕等の空を変えていくのか  
君等の正しさを教えておくれよ

旅へ出て行けば旅は素敵かな  
ここじゃわからないこともあるのかな  
話をすればこれも君の空  
青くて正しい君の空

### 向こうの男

知らないつちに 川の向こうの  
知らない場所へ 辿りついてた  
僕はここで何してるんだらう  
ここで僕は何してるんだらう

向こうの男 向こうの男  
向こうの男 向こうの男

川の畔で独り眺める  
川の向こうで佇む男  
彼はここで何してるんだらう  
ここで彼は何してるんだらう  
向こうの男 向こうの男

### 手のなる方へ 2.0

暑い夏の日  
思い出すよ君のこと  
綺麗な星空  
ともに眺めたね

全ては上手く  
いってると言う嘘  
笑顔を作って  
誉めあって  
幸せがってるけど  
不幸せそう

酌み交わそう  
今夜は皆で  
讃え合おう  
声を合わせて  
幸せなら手を叩こう  
でも僕は  
手のなる方へは  
行かないよ

寒い冬の日  
思い出すよ君のこと  
雪の降る町で  
忘れ物を探したね

全ては嘘ばかり  
と言う嘘  
眉間に皺を  
寄せあって  
不幸がってて  
幸せそう

さあ歌おう  
肩を組んで  
さあ踊ろう  
リズムに合わせて  
幸せなら手を叩こう  
でも僕は  
手のなる方へは  
行かないよ

寒い梅雨の日  
思い出すよ君のこと  
誰も居ない町を  
画面越しに眺めたね

全ては嘘ばかり  
と言う嘘  
眉間に皺を  
寄せあって  
不幸がってて  
幸せそう

さあ歌おう  
肩は組まずに  
さあ踊ろう  
距離を離して  
人を思うなら手を洗おう  
そう世界は  
手を洗う方へしか  
行かないよ

さあ手を洗おう  
さあ手を洗おう  
人を思うなら手を洗おう  
そう世界は  
手を洗う方へしか  
行かないよ

さあ手を洗おう  
さあ手を洗おう  
人を思うなら手を洗おう  
そう世界は  
手を洗う方へしか  
行かないよ

### バターライス

たといは ぼくらに  
あらゆる 力があつたとしても  
そんなに 上手くは  
上手くは 使えない

どんなに 君を  
しあわせに できるかなんて  
考えてる こと自体  
とても 偉そうな話

ベストなんて知らない  
ゴールなんて知らない

できれば また君の  
となりに 生まれたい  
できれば もう何も  
わからずに わからずに

ベストなんて要らない  
ゴールなんて要らない

なんにも なくならないなんて  
だれにも 云えはしない

### Johnさんの眼鏡

Johnさんは眼鏡をかけている  
僕も眼鏡をかけている  
Johnさんの奥さんは日本人  
僕の奥さんも日本人

僕ももうすぐ四十になる  
今からじゃとても追いつけないよ  
Johnさんは息子が二人いる  
僕は娘が一人いる

僕が書いた曲は六十曲くらい  
今からじゃとても追いつけないよ  
Johnさんはジタンを吸っている  
僕はマルボロを吸っている

君の生きた四十年  
僕の生きた四十年  
その先を想像してごらん  
その先は真似しようもない  
いつか僕も年上になる  
いつか僕も年上になる

Johnさんは眼鏡をかけていて  
何だかとてもカッコいい  
Johnさんは沢山曲を書いていて  
今からじゃとても追いつけないよ